

図の編集 編集


「図」ツールバー



(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)

編集する図形を選択することで表示される「図」ツールバーを使用して操作します。

「図」ツールバーが表示されないときは、メニューバーの「表示」をクリックし、次に「ツールバー」をポイントして表示される一覧から「図」をクリックします。

- (1) 「色」ボタン()をクリックして表示される一覧から選択します。


自動：元の画像に戻すときに選択します。

グレースケール：カラー印刷をしないときに使用します。

白黒：白黒にすると中間色は失われます。

ウォッシュアウト



- (2) 「コントラスト（強）」ボタン()は、クリックするごとに白い部分はより白く表現されます。

- (3) 「コントラスト（弱）」ボタン()は、クリックするごとに黒い部分はより黒く表現されます。

- (4) 「明るさ（強）」ボタン()は、全体的に暗いというときにボタンを何回か押します。

- (5) 「明るさ（弱）」ボタン()は、全体的に明る過ぎるというときにボタンを何回か押します。


- (6) 「トリミング」ボタン()は、画像外側の不要な部分を除くことができます。


トリミングをする画像を選択します。

「トリミング」ボタンをクリックし、画像の周囲に表示される「8個」のハンドルを確認します。

ハンドルをポイントし、ポインタの形が変わったことを確認してドラッグして不要な部分を除きます。（画像を残す部分の境界として破線が表示されます。）



- (7) 「左へ90度回転」ボタン()は、クリックするたびに画像を左に90度回転します。

- (8) 「線のスタイル」ボタン()をクリックして表示される「線の太さ」の一覧から線の太さを指定することで、図形の枠に枠線を引くことができます。



「図の圧縮」ボタン()は、挿入されている画像を圧縮して文章ファイルのサイズを調整します。

「設定の対象」欄では、「選択した図」または「ドキュメント内のすべての図」(文章内の図)から設定の対象を選択します。

「解像度の変更」欄では、用途によって解像度を変更します。数値小さくなるほど図形の容量が小さくなり、文章の保存や開く操作が速くなります。

「オプション」欄

- [図を圧縮する] にチェックを付けると、図を可能な限り圧縮します。
- [図のトリミング部分を削除する] にチェックを付けると、トリミングした図の不要な部分を削除するためトリミングを元に戻すことができなくなります。



(9) 「テキストの折り返し」ボタン()をクリックして表示される一覧から画像の周りの文字列の折り返しを設定します。

「行内」：画像の高さが行の高さになり、文字の折り返しを設定することができません。

「四角」：画像が四角形の枠内に収まっている形で表示され、この四角形画像の周囲に文字が回り込みます。

「外周」：画像の輪郭に沿って文字が回り込みます。

写真画像の場合は画像自体四角形ですので、「外周」「四角」いずれも結果は同じです。

「背面」：画像を文字の背面に表示します。画像の色がうすい場合は、透かしのように使うことができます。

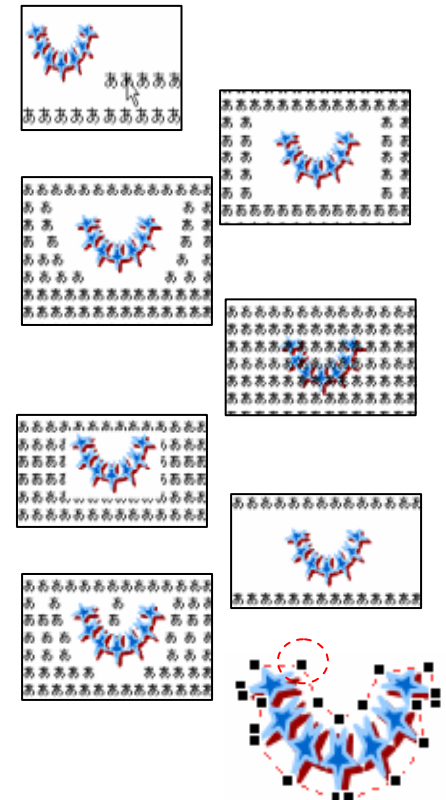
「前面」：画像を文字の前面に表示するため文字が隠れてしまいます。



「上下」：他の画像や文字が、画像の上と下に分かれて表示され、左右に配置することができません。

「内部」：文字列が図の折り返し点の内部にも表示されます。

「折り返し点の編集」：テキストを折り返すための境界線上に表示される「」点をドラッグして編集します。

自由に図形を移動させるときは、「行内」以外を選択します。



- (10) 「図の書式設定」ボタン()は、表示される「図の書式設定」画面で図に関する書式を設定します。
または、画像をポイントし、右クリックして表示されるメニューから「  の書式設定」をクリックします。

「色と線」タブ

「塗りつぶし」欄：(オートシェイプ等で作成された図形が対象で写真等の読込んだ図には、使用できません。)

「色」の右端矢印をクリックして表示される「色」ボックスから塗りつぶしの色を選択し、図形の透明な部分を塗りつぶします。

透過性：バーまたは数値ボックスに入力して塗りつぶした色の透明度を設定します。

「線」欄(図形の枠について設定します。)

「色」の右端矢印をクリックして表示される「色」ボックスから線の色を選択します。

「実線/点線」の右端矢印をクリックして表示される一覧から線の種類を選択します。

「スタイル」の右端矢印をクリックして表示される一覧から線のスタイルを選択します。

「太さ」の右端矢印をクリックして表示される一覧から線の太さを選択します。

(「図」ツールバーの「線のスタイル」ボタンでも同様の操作ができます。)

「矢印」欄(線の両端のスタイルを設定します。)

右端矢印をクリックし、矢印等の形と大きさを選択します。



「サイズ」タブ

「サイズと角度」欄

「高さ」や「幅」ボックスに数値を指定して大きさを調整することができます。

( の「縦横比を固定する」を参考)

「回転角度」ボックスに角度を指定して図形の傾きを調整することができます。

(「図」ツールバーの「左へ90度回転」ボタンでも同様に90度単位で回転することができます。)

「倍率」欄

「高さ」や「幅」ボックスに倍率を指定して大きさを調整することができます。

「縦横比を固定する」ボックスにチェックを付けると、「高さ」または「幅」のどちらかを指定するだけで大きさを調整することができます。

「元のサイズを基準にする」にチェックを付けると、元のサイズを基準に倍率を指定することができます。

「原型サイズ」欄では、「高さ」や「幅」ボックスに原型サイズが表示されます。

「リセット」ボタンをクリックすることで図に対する設定を取り消して図が挿入されたときの状態に戻すことができます。(「図の圧縮」での設定により元に戻すことができないものもあります。)



「レイアウト」タブ

「折り返しの種類と配置」欄は、「図」ツールバーの「テキストの折り返し」ボタンを参考にしてください。

「水平方向の配置」欄は、図を「左揃え、中央揃え、右揃え」に設定することができます。「詳細設定」ボタンは、クリックして表示される「レイアウトの詳細設定」画面で配置に関するより詳細な設定することができます。

「レイアウトの詳細設定」画面

「配置」タブ

「横位置」欄（設定する項目のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。）

「配置」ボックスの右端矢印をクリックして表示される一覧「左揃え、中央揃え、右揃え」から図の配置を選択します。次に、配置の基準を「基準」ボックスの右端矢印をクリックして表示される一覧「余白：ページ左右の余白、ページ：用紙全体、段：段組み、文字：段落内で先頭に置かれるアンカーを、特定の文字列の位置に置くことで文字列との関係を保つことができます。」から選択します。

「本のレイアウト」ボックスの右端矢印をクリックして表示される一覧「内側、外側」から図の配置を選択します。次に、配置と同様に「基準」ボックスから選択します。（この設定は、「ページ設定」の「余白」タブにある「複数ページの印刷設定」が「標準」以外の「見開きページ、袋とじ、本」のときに設定します。）

「右方向の距離」ボックスには、基準からの距離を数値で設定します。次に、配置と同様に「基準」ボックスから選択します。

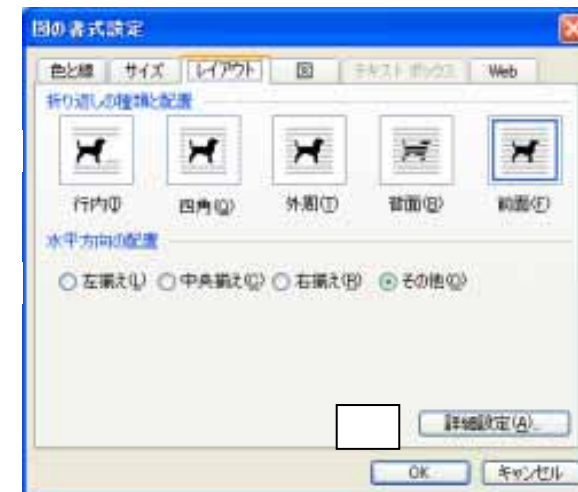
「縦位置」欄（設定する項目のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。）

「配置」ボックスの右端矢印をクリックして表示される一覧「上、中央、下、内側、外側」から図の配置を選択します。次に、配置の基準を「基準」ボックスの右端矢印をクリックして表示される一覧「余白：ページ上下の余白、ページ：用紙全体、行：段落内の特定の行にアンカーを置くことができます」から選択します。

「下方向の距離」ボックスには、基準からの距離を数値で設定します。次に、配置の基準を「基準」ボックスの右端矢印をクリックして表示される一覧「余白：ページ上下の余白、ページ：用紙全体、段落：段落内の先頭行、行：特定の行」から選択します。

「オプション」欄

- 「文字列と一緒に移動する」は、アンカーのある文字列が移動した場合、その文字列と一緒に図の位置が変更されます。
- 「オーバーラップさせる」は、複数の画像を重ねるとき浮動配置のグループによってオーバーラップさせるかどうかを指定します。
- 「アンカーを段落に固定する」は、アンカーを固定していないと図を動かしたとき、常にアンカーは近い段落と関係をしようと動いてしまうので、特定の段落に固定することで、図と段落の関係をしっかりと結びつけることができます。
- 「表のセル内で配置する」は、表の中に図を配置する場合に、アンカーを表内に入れるときに設定します。



「文字列の折り返し」タブ

「折り返しの種類と配置」欄では、ボックスをクリックして選択します。設定内容は、「図」ツールバーの「テキストの折り返し」ボタンを参考にて下さい。

「左右の折り返し」欄では、 の設定が「四角、外周、内部」のときに有効で、画像の周りの文字列の折り返しを設定します。

「文字列の間隔」欄では、 の設定が「四角、上下」のときに有効で、画像の上下左右の文字列との余白を設定します。



「図」タブ




「トリミング範囲」欄では、「図」ツールバーの「トリミング」と同様の操作が、数値を指定して設定することができます。

「イメージコントロール」欄では、「図」ツールバーの「色、明るさ、コントラスト」と同様の操作が、数値の指定やスクロールバーをドラッグして設定することができます。

「圧縮」ボタンは、「図」ツールバーの「圧縮」と同様の操作をすることができます。

「リセット」ボタンをクリックすることで、図に対する設定を取り消して図が挿入されたときの状態に戻すことができます。（「図の圧縮」での設定により元に戻すことができないものもあります。）



- (11) 「透明な色に設定」ボタン () は、クリックしてポインタの形が  に変わったことを確認し、透明にしたい色の部分をクリックすることで、クリックした色が透明になります。
- (12) 「リセット」ボタン () は、クリックすることで図に対する設定を取り消して図が挿入されたときの状態に戻すことができます。（「図の圧縮」での設定により元に戻すことができないものもあります。）